

## 株式会社メディアパークつくば

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	代表取締役 植木 章夫(常勤)	所管部(局)課	企画部新線・つくば調整課	
所在地	筑波郡伊奈町大字南太田1176	電話番号	0297-47-6000	
ホームページURL	無	E-mailアドレス	無	
資本金(基本財産)	3,110,000 千円	設立年月日	平成10年11月20日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	500,000 千円	16.1 %
	2	松下電器産業株式会社	300,000 千円	9.6 %
	3	ソニー株式会社	300,000 千円	9.6 %
	4	伊奈町	200,000 千円	6.4 %
	5	株式会社常陽銀行	150,000 千円	4.8 %
	その他	57 団体	1,660,000 千円	53.4 %
設立的	県が推進する「メディアパークシティ整備構想」の事業主体として設立			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内 容
事業1 ワークステーション江戸運営支援業務(財団法人茨城県開発公社からの受託業務)	8,000 千円	・(財)茨城県開発公社が大新東(株)に委託した施設運営業務に関する支援及び連絡調整業務 ・ロケ業務に係る地元との連絡調整及び連携に関する業務 ・ロケ及び施設の利用促進に係る営業活動に関する業務 ・施設内でのロケに対する連絡調整及び支援並びにロケセットの設置調整等に係る業務
事業2	千円	
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤取締役	1	1	0	1	0	1	1	0	1
	非常勤取締役	5	1	0	3	0	0	3	0	0
	常勤監査役	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤監査役	2	1	0	2	1	0	2	1	0
	計	9	3	0	7	1	1	7	1	1
職員	管理職	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	1	0	0	0	0	0	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	0	0	0	0	0	歳 月	年 月			

## [収支の状況]

株式会社メディアパークつくば

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収益合計	320,455	130,527	11,760
	売上高	318,657	130,430	11,405
	営業外収益	1,798	97	355
	費用合計	801,025	289,634	10,284
	営業費用	782,216	283,039	10,284
	営業外費用	18,809	6,595	0
	うち管理費	215,879	280,054	10,221
	うち人件費	203,878	27,577	6,082
	経常損益	-480,570	-159,107	1,477
	特別利益	350	625,209	26,238
	特別損失	11,459	2,305,179	26,591
	税引前当期損益	-491,679	-1,839,077	1,124
	法人税, 住民税, 事業税	2,290	950	950
	当期損益	-493,969	-1,840,027	174
	前期繰越損益	-753,918	-1,247,887	-3,087,914
当期末処分利益・ 未処分損失	-1,247,887	-3,087,914	-3,087,739	
利益処分額・損失 処理額	0	0	0	
次期繰越損益	-1,247,887	-3,087,914	-3,087,739	
財 産 の 状 況	資産	2,723,930	41,231	25,251
	流動資産	29,920	41,221	25,241
	固定資産	2,694,010	10	10
	繰延資産	0	0	0
	負債	861,819	19,146	2,991
	流動負債	230,925	19,146	2,991
	うち短期借入金	95,128	0	0
	固定負債	630,894	0	0
	うち長期借入金	605,360	0	0
	資本	1,862,111	22,085	22,260

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	0	0	0
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

## [平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

[評価総括]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	-3	8	-37.5%
目的適合性	4	-9	10	-90.0%
組織運営の適正性	4	-2	8	-25.0%
健全性	8	8	36	22.2%
効率性	8	-8	28	-28.6%
合計	28	-14	90	-15.6%

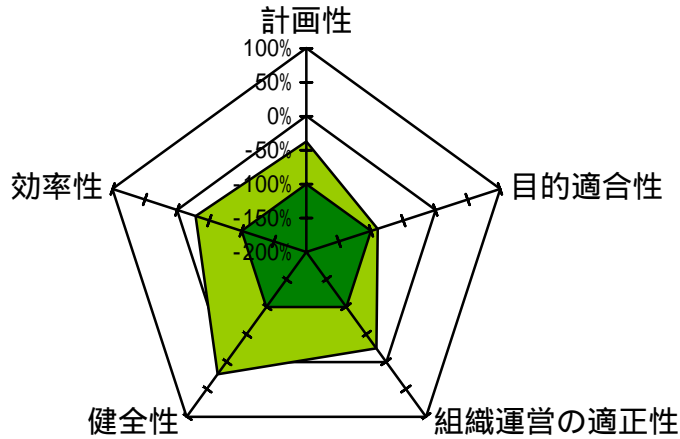
企業会計用

株式会社メディアパークつくば

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>民事再生法適用後、法人として存続しているが経営体としての組織・機能を有していないところから、早急に他の株主とも協議し、法人の存廃につき検討すべきである。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>・(株)メディアパークつくばは、県が推進する「メディアパークシティ整備構想」の事業主体として設立されたものであり、会社は今後も所期の目的実現に向けその役割を果たしていく必要がある。</p> <p>・県としては、「ワープステーション江戸検討委員会」の検討結果を踏まえ、今後の事業内容や組織体制の見直し等を行うなど、経営改善に向けた方策について早急に検討するよう指導していく。</p>
-------------	---

< 株式会社メディアパークつくば から県民のみなさまへ >

今後も引き続き、「メディアパークシティ整備構想」を推進するための調整・検討を進めるとともに、当構想の先導施設として設置した「ワープステーション江戸」に関する支援等を行いながら、地域振興に寄与してまいりたいと考えております。

平成17年2月 代表取締役 植木 章夫

## [法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
・現在の業務が開発公社からの受託業務のみであるため、業務計画等による具体的な数値目標が設定しにくい。	・メディアパークシティ整備構想自体や会社のあり方等について検討する時期に来ている。	・現在の代表取締役1人という体制では組織として機能しない。	・減資により累積損失を解消し財務体質の改善を図る。	・現体制では十分な成果を上げることは困難。
<p>今後の事業展開の方向</p> <p>・当面は引き続き開発公社からの受託業務を行っていく。          ・長期的には、「メディアパークシティ整備構想」の段階的な推進を図るための諸調整・諸検討を行っていくが、現在、県で進めているワープステーション江戸のあり方検討の結論によっては、会社の存続や今後の事業のあり方等について検討することとなる。</p>				

## [法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性	
・将来的な事業の進め方など検討する必要がある。	・所期の会社設立の目的達成に向け、その役割を果たしていくとともに、会社の存続も含め、今後の事業のあり方について検討する必要がある。	・代表取締役1人という現体制では、会社運営は困難な状況である。	・減資により会社を身軽でコンパクトにすることで事業の存続を図る。	・現体制での効率的な運営は困難である。	
第三次行財政改革大綱に係る取組状況		<p>推進事項</p> <p>「ワープステーション江戸」については、平成14年4月から運営業務全般を民間施設の運営実績を有する大新東(株)に委託し、運営経費を大幅に圧縮するとともに、団体バスによる県外からの集客、園内演出の強化等に努めています。          さらに、平成14年10月には当該施設を(財)茨城県開発公社に譲渡し、安定的な運営基盤の確保に努めます。</p>	<p>取組み状況</p> <p>・(財)茨城県開発公社から委託を受け、「ワープステーション江戸」運営業務に関する支援やロケ・施設の利用促進に係る営業活動等を行った。          ・昨年の民事再生手続により、実質的に減少している会社財産に資本の額を合わせ、実態に見合った組織とするため、減資等について検討する必要がある。</p>		
法人担当課の意見		<p>・今年6月の定時株主総会において、繰越損失の解消、外形標準課税の回避、会計監査人、常勤監査役の経費節減を目的とし、資本金31億1千万円を2千万円に減資することで承認可決された。今後は身の丈にあった会社として事業の存続を図っていくこととなる。          ・会社は今後も県、伊奈町及び開発公社と一体となって「メディアパークシティ整備構想」の段階的な推進を図るための諸調整・諸検討を行い、会社設立の目的実現に向けてその役割を果たしていくこととなるが、同社の存続や今後の事業のあり方については、現在進めているワープステーション江戸のあり方検討の結論を踏まえ、株主と協議していく必要がある。</p>			